

○2番（染谷直人君） 皆様、こんにちは。議席2番、染谷直人でございます。傍聴の皆様も、お寒い中ありがとうございます。議長より発言の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

まず、橋本町長におかれましては日々、町政発展のため、ご尽力をいただいておりますことを心から敬意を表するところでございます。

それでは、ただいまより通告に従いまして、町政に対する一般質問をさせていただきます。3項目3点についてお伺いしたいと存じます。これまで全員協議会や町長の行政報告にてご説明をいただいた部分もありますが、ご教示賜ればと存じます。

1項目めのさかエールP a yについてでございます。実は本件で取り上げようと思っておりました件につきまして、既に専決処分にて迅速にご対応いただき、昨日の本会議や町政報告でもご説明をいただいておりますので、どう質問しようかと思っているのですが、傍聴の方もいらっしゃいますし、町民の中でも関心の高いテーマだと思っておりますので、改めて教えていただきたく存じます。

さかエールP a yにつきまして、町民の方から追加発行の声が高まっていたことに加え、入学用品を購入するには、使用できる期間を3月まで延ばしてもらえないかという声が届きました。したがって、今回改めて、さかエールP a yの発行実績と使用期間について、当町の考え方を伺いたいと存じます。

続いて、2項目めの学校統廃合の進め方についてでございます。既に昨年度中に小中学校の統廃合の考え方が示され、各小学校区単位で説明会が実施され、当町の考え方や今後のロードマップが示されたものと思っております。統廃合の対象となります境2中学区は、私が住む地域でもあり、しばしば本件について話題に上がることもございます。係る中で、足元の進捗状況や地域住民への周知や理解を深める取組について当町の考えを伺いたいと存じます。

最後に、3項目めの高校生等の国際交流の支援についてでございます。新型コロナウイルス感染症が5類相当になり、半年が経過いたしました。それまでは、特に児童生徒向けのイベントに関しては、コロナ禍前と同様に取り組むことは難しかったと推察をいたします。したがって、何年ぶりに復活、再開という事業もあろうかと思っております。

ここで、今回取り上げさせていただきますのは、コロナ禍において主に小学校高学年、中学生だった子供たちは、本来コロナ禍でなければ参加できたかもしれない派遣事業、アルゼンチンですとか、今年度から開始でございますけれども、ハワイですとか、あとは毛色は違いますけれども、沖縄等もあり、そういった多感な時期の多文化交流の機会が残念ながら少なかったのではないかと思います。

上記を受けまして、コロナも落ち着いてまいりましたので、そういった世代にも何らかチャンスや支援というものがあってもいいのではという前提に立ちまして、コロナ禍で実際に現地に赴き、交流の機会が少なかった高校生等の国際交流について、当町の考え方を伺いたいと存じます。

以上、3項目3点の1回目の質問とさせていただきます。執行部の誠意あるご答弁をお願い申し上げます。

げます。

○議長（倉持 功君） 最初に、さかエールP a yについての質問に対する答弁を求めます。

秘書公室長。

〔秘書公室長 忍田 博君登壇〕

○秘書公室長（忍田 博君） 改めまして、皆さんおはようございます。それでは、私のほうから染谷議員の1項目め、さかエールP a yについてのさかエールP a yの発行実績及び使用期間について当町の考えを伺いたいのご質問にお答えをいたします。

初めに、さかエールP a yの目的についてでございますが、現在実施しております、さかエールP a yにつきましては、物価高騰対策としてキャッシュレス決済を促進し、全年齢を対象に普及させるものでございます。また、販売につきましても、インターネットで完結することにより、申込み時の行列や混乱、さらには手続の簡素化が図られる、予算が続く限りは年内に何度でも発行事業が可能であると考えております。

さかエールP a y電子クーポンの発行につきましては、65歳以上の高齢者から電子ではなく紙券で発行できないかとの声も聞かれますが、前回3,000円分の地元応援券を65歳以上の対象者7,300名のうち4,434名に電子クーポンと紙券を発行いたしました。電子クーポンでの提供を受けた方が約65%を占めておりました。今後ともキャッシュレスの推進に努めていく考えでございます。

続きまして、発行の実績についてでございますが、ご質問のさかエールP a yの発行実績につきましては、対象者は境町在住者、境町で勤務されている方及び農業経営者、商工会会員となっております。プレミアム率は30%となっております、昨年25%より5%アップしております。購入限度額は、境町在住者及び境町在勤者が1人10万円まで、農業経営者、商工会会員の方が1事業所30万円までとなっております。昨年同様、税金や水道料金の支払いにも使用できるとともに、町内の200以上の店舗でご利用いただけます。発行総額は1億3,000万円で、10月18日よりインターネットのみで申込みを開始いたしました。10月20日までの3日間で完売となりました。対象者別の販売額の割合としましては、境町在住者が1,001件で66.4%、境町で勤務をされている方が57件で3%、農業経営者、商工会会員が134件で30.6%となっております。

住民の方からは、新居に向けた家電の購入に利用させてもらって大変助かります。ガソリンが高騰しているので、ガソリンスタンドで利用できるのも、ありがたいなどのお声をいただいているところでございます。

追加販売についてでございますが、住民の方々や商工会のほうからも追加販売に関する要望をいただいているところから、このたび追加販売を実施することといたしました。追加販売につきましては、議員各位には既にお知らせをしているところでありますが、追加発行額を7,000万円とし、前段の発行額と合わせまして、発行総額は2億円となっております。追加申込みは12月5日本日からとなっております、使用期限につきましても、当初2月10日までとなっておりますが、追加販売に合わせま

して、3月20日まで延長することといたしました。また、11月29日からは、町ホームページ、防災無線、町コミメールS a k a i n f oにおいて追加販売の周知をしてきたところでございます。

今後も経済情勢に即しました商工政策を推進しまして、町内企業や町民の生活を支援するとともに、町内経済の活性化につながるよう取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

染谷直人君。

○2番（染谷直人君） ご答弁ありがとうございます。前回というか、当初に発行されたのが3日間で完売してしまったということで、とても人気があったというふうに受け止めをしております。

先ほどご答弁の中で、キャッシュレスになっていい点を、私もそれはいい点だというふうに認識をしておるのですが、実際の加盟店さんとお金の決済とか、些末な点になるのですが、そういったところはどのような仕組みになっているのかというのを教えていただければと思います。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

秘書公室参事。

○秘書公室参事（橋本健一君） それでは、染谷議員の再質問にお答えをさせていただきます。

お店への支払いについては、紙券のときには、いわゆる毎週お店の人が商工会にその券を持って行って換金の手続をしましたけれども、今回電子になりましたら、例えば翌月払いで、直接委託業者のほうからお店のほうに支払われるような形になりますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

染谷直人君。

○2番（染谷直人君） 電子に変わって、様々そういった事務手間みたいなのも省かれているのだろうなというふうに思ひますので、引き続きお願ひしたいというふうに思ひます。

また、先ほどご答弁にもありましたとおり、今日から追加販売を受け付けるということで、どれだけの需要が出てくるか分かりませんが、その需要がすごく大きくなった場合には、予算が続く限りかとは思ひますが、追加での発行をまた検討を、そういった場合についてはぜひお願ひしたいと。こちらは要望でござひます。

○議長（倉持 功君） これでさかエールP a yについての質問を終わります。

次に、学校統廃合の進め方についての質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

〔教育次長 栗原恵子君登壇〕

○教育次長（栗原恵子君） 皆様、改めましておはようございます。染谷議員の2項目め、学校統廃合の進め方についての学校統廃合の進捗状況及び地域への周知や理解を深める取組について、当町の

考えを伺いたいとのご質問にお答えいたします。

境町では、境町学校のあり方検討委員会の提言内容や児童生徒数の推移、教育の動向などを踏まえた上で、境町立学校再編整備計画素案を策定し、昨年12月町議会の議員の皆様への説明をはじめといたしまして、各地区代表行政区長、町立小学校長及びPTA会長への説明を行ってまいりました。その後、全町民の皆様を対象として、小学校区域ごとに地区説明会を開催し、延べ165名の参加をいただきました。説明会では、義務教育学校設置までのスケジュールや統合した後の学校施設の後利用についての質問がございましたが、素案の内容に対しましては、おおむねご理解が得られたものと考えております。

また、パブリックコメントにつきましても、30日間意見を募集し、1名の方から、子供たちの将来を考えると学校再編の計画は必要であるというご意見をいただいたところでございます。

続きまして、進捗状況についてでございますが、現在の進捗状況といたしましては、再編整備計画の策定に際しては、再編整備に係る予算規模の見通しを持つことも重要であるということから、境第2中学校区の小学校の統合と、統合に合わせた境第二中学校の小中一貫校の整備に係る建設費などについて、建設費の高騰や人手不足が指摘されている中で、工事期間も含め、最適な建設方法と予算規模について調査研究をしているところでございます。

続きまして、地域への周知や理解を深める取組についてですが、今後義務教育学校の設置を進めていくに当たりましては、対象となる小中学校のPTAや関係者の皆様のご理解をいただくとともに、理解を深めていくことが重要であると考えております。そのことから、関係する小中学校のPTAの方々などに、学校の統合に合わせて、小中一貫教育校を整備している先進校を視察していただき、学校統合や小中一貫校の実際の状況を知っていただくことにより、統合による効果や、現在抱えている課題や不安要素などの解消に努めていく必要があると考えております。

また、町広報紙等により、統合の必要性や統合によるメリット、デメリットなどにつきまして、住民の皆様方にお知らせをするとともに、今後開校に向けては準備委員会を立ち上げ、より具体的な検討事項を協議する中で、PTAなどの不安が生じないよう理解を図ってまいりたいと考えております。

。

学校再編を進めるに当たりましては、学校と地域の連携、協働という視点を踏まえ、保護者、地域の皆様のご意見を伺いながら進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

染谷直人君。

○2番（染谷直人君） ご答弁ありがとうございます。私も学校統廃合については、大変重要性、必要性を理解しておりまして、ぜひ進めていただきたいというふうに思っております。

そして、先ほど答弁の中に大変すばらしい、PTAの皆さんに先行事例を見に行ってくださいとか、そういった取組がありましたけれども、例えばここに地域の住民の方、無制限にということにはい

かないとは思いますが、区長さんですか、あとは興味関心の高い方ですか、そういった方を入れていくと、さらに理解が深まるのではないかなというふうに思うのですが、そういったところについてはいかがでしょうか。

○議長（倉持 功君） 質問に対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、染谷議員さんのご質問にお答えします。

そのように答弁は書いたつもりだったのですが、一気にということではなくて、今まずは一番関心のあるというか、一番直結する保護者の方です。

小学校に行って、体育館が1つで大丈夫かとか、グラウンドが1つで大丈夫かとか、そういう方々がいらっしゃるわけです。さらには、自転車等通学とスクールバス両方で大丈夫かとか、そういう一番当事者になる方々の不安をまず緩和するというか解決するために、そういったことをやっていって、さらには希望する方にもやっていくというようなことなので、まず今区長さんたちには、その検討委員会の中に入っているという話も聞いていますので、それよりも当事者になる保護者の方をまず優先して、どうなるかと。さらには、そういう不安を取り除いていくということが重要ではないかということで答弁をさせていただいておりますので、狭めて言っているわけではございませんので、ご理解のほどをよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（倉持 功君） 答弁に対し、質問はございますか。

染谷直人君。

○2番（染谷直人君） ご答弁ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひいたします。

以上です。

○議長（倉持 功君） これで学校統廃合の進め方についての質問を終わります。

次に、高校生等の国際交流支援についての質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

〔教育次長 栗原恵子君登壇〕

○教育次長（栗原恵子君） 染谷議員の3項目め、高校生等の国際交流支援についての、コロナ禍で実際に現地に赴き交流の機会がなかった高校生等の国際交流支援について、当町の考えを伺いたいとの質問にお答えいたします。

子供たちへの国際交流支援の経過について、まず本町ではこれまで、姉妹都市であるハワイ州ホノルル市の小中学校と姉妹校締結をし、交流を積み重ねてまいりました。中学生の交流では、令和元年12月にアリアマヌ中学校と境一中、二中が姉妹校協定を締結し、コロナ禍にはオンライン交流を行い、今年3月に4日間の日程で、アリアマヌ中学校の生徒11名と5名の先生方が来町いたしました。今年の8月には4泊6日の日程で境町の中学生15名をアリアマヌ中学校に派遣し、ハワイの日常生活を体験し、身につけた英語力の実践と国際感覚を養ってまいりました。

小学校の交流では、令和4年5月にノエラニ小学校と境小学校が姉妹校協定を締結し、今年10月にはノエラニ小学校から児童6名が先生方5名と来町し、初めて対面での交流を実施いたしました。境小学校で書道や体育などの授業や給食など日本の学校生活を体験いただき、境町の子供たちと交流し親睦を深めました。また、ホームステイ先として児童のご家庭にホストファミリーとなっており、日常生活を通して交流をする中で、境町の子供たちにとっても貴重な体験となったところでございます。

今後は、来年3月に、アリアマヌ中学校から15名の生徒の受入れを実施する計画で交流のプログラムを検討しており、また来年度にはノエラニ小学校に境町の小学生派遣事業を計画するとともに、アリアマヌ中学校区のマカラパ小学校も姉妹校を希望されていることから、境町のほかの小学校にも交流を広げていくことを含めて、さらなる海外体験の交流プログラムの充実を図ってまいりたいと考えているところでございます。

続きまして、高校生等の国際交流支援につきましてですが、このような中、現在の高校生につきましては、スーパーグローバルスクール事業が開始され、当町の公立校に通っていた生徒は、学校で先進的な英語教育を受けてきた経験があるにもかかわらず、中学校在学中はコロナ禍により、海外への往来が制限され、海外姉妹校との直接交流の機会がなかった世代でもございます。そのような高校生等の国際交流の機会の提供と、これから小中学校での英語教育と姉妹校交流を経験した児童生徒が、高校生となったときのさらなる国際交流の場としての支援も必要ではないかというふうに考えております。このため、現在町内に住む高校生などを対象に、ハワイのインターンシップやホームステイを検討しているところでございます。

具体的には、ハワイ島にあるハワイプレパラトリーアカデミーと協議すべく、現在検討を進めているところでありますが、同校が受け入れるサマースクールの期間が6月下旬から7月中旬となっていることから、日本の夏休みとは期間が合わないという課題がございます。こうした課題はございますけれども、ぜひ協議を進め、次年度はまず1名の方のハワイでのインターンシップを実現し、高校生の国際交流についても支援をしてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

染谷直人君。

○2番（染谷直人君） ご答弁ありがとうございます。来年度は1名の方を対象に、そういったインターンシップの機会、道が開かれるということは大変素晴らしいことと思います。

答弁を聞いていて、ジャストアイデアなのですけれども、せっかくスーパーグローバルスクール事業で英語教育をほぼほぼ全て受けてこられた英語の話せる子たちを、例えば小学生とか中学生を送る際の引率の先生というか、引率者みたいな形で同行させるとか、そういったこともできるというか、そういったことも可能なのではないかなとも思ったのですが、そういった点はいかがでしょうか。

○議長（倉持 功君） 町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、一緒に同行してきた身としてお話をさせていただければ、基本的には行ったら、行っている間については、ホストファミリーに任せて一切交流がないわけです。なので、サポートするという形で、この間例えば花火の際にも連れていったことがあるのですけれども、ボランティアをやりたいという人をです。あまり意味がなかったというところがあるので、多分英語を学ぶなら、しっかり英語を学びに行かないと意味がないのではないのかな。遊びに行くわけではないので。

やっぱり小中学生もホストファミリーとの交流、さらには英語の交流、そして学校との交流が目的であって、高校生についても語学の、結局は磨くことであったり、さらには生活を知ることによって、やっぱりそこで生活をするということが重要だというふうに思うので、やっぱりただ引率で連れていくというのは、別に英語のためにはならないのかなというふうに思いますので、どうでしょう。

検討させていただきますけれども、基本的にはそこまで、逆に職員でしゃべれる子たちもいるとか、職員がそこで今スキルアップをしているところでもありますので、そこまで費用をかけて、そこへ連れていくというのはどうなのかなという感じはしますので、それよりは別個に高校生のプログラムをつくってあげたほうがいいかなというふうには思いますけれども。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

染谷直人君。

○2番（染谷直人君） ありがとうございます。ぜひ高校生等についてもご支援のほどお願いできればと思います。

以上で質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

○議長（倉持 功君） これで染谷直人君の一般質問を終わります。